

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 15 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 被災集落復興計画小委員会 | | 主 査 名：河野泰治 就任年月：2008 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 農村計画委員会 | | 委員長名：三橋伸夫 |
| 設 置 期 間 | 2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域などの被災集落地域における復興計画を支援する。 ・ これまでの中山間地域等における災害復興過程を検証する。 ・ 地形や風土に調和した復興の目標、集落再構築計画、住宅再建計画のあり方を議論する。 | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | 河野泰治〔主査〕(福岡大学)、伊藤庸一(日本工業大学)、重村力(神戸大学)、西村伸也(新潟大学)、塩崎賢明(神戸大学)、澤田雅浩(長岡造形大学)、加藤仁美(環境デザイン研究室)、岡田知子(西日本工業大学)、石丸紀興(広島国際大学)、浅井秀子(鳥取短期大学)、寺澤秀忠(一級建築士事務所抄拓)、後藤隆太郎〔幹事〕(佐賀大学) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | | |
| 2009 年度予算 | 130,000 円 | ホームページ公開の有無：有(農村計画委員会 HP 内) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/ | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 3 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会メンバーによる科研費申請が採択され、2009年度から3カ年の予定で「災害復興計画策定のための被災後の調査と計画手法の研究」(基盤研究B, 研究代表者岡田知子)を始動した。 2. 上記に関連し、本年度は玄界島の被災・復興事業後の延べ5日間の合同現地調査を行い、復興状況の調査、被災前と復興事業後の住宅および住環境等の調査検討を行った(九州支部研究報告集に3編投稿)。 3. 玄界島の島づくり委員会との現地交流を通じて、現況諸問題の整理や今後の課題等について議論した。 4. 岩手・宮城内陸地震被災地視察を実施した。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | これまで玄界島を中心として調査研究等を行ってきたが、今後は他の被災地・復興事例と比較検討、活動成果の公開等、より活動を一般化していくことが課題である。 |